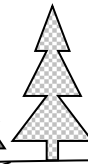




# 南浦和中だより



第 4 号  
 平成30年 6 月 29 日(金)  
 さいたま市立南浦和中学校  
 さいたま市南区辻 6-1-33  
 TEL 048-863-0753  
 さわやか相談室 直通  
 TEL 048-837-5909

《学校教育目標》日に新た 心豊かに たくましく



## 「お手伝いのできる人」

校長 益子 慶次

梅雨の合間の夏空が、ひときわ眩しく感じられる季節となりました。

6月初めに行われました「さいたま市中学校総合体育大会」では、各部ともよく健闘してくれました。サッカー、柔道男子団体、剣道女子団体、バドミントン女子団体の4つの団体競技で、県大会出場を決めました。また、個人においても多くの競技で出場権を獲得しました。大変素晴らしいことです。関東大会・全国大会に向け応援よろしくお願ひいたします。そして、いよいよ夏休みまで、20日余りとなりました。この1学期を振り返って、どんな反省点がありましたか。反省のないところに、前進はないといわれます。しっかり振り返ってください。1, 2年生は1学期の復習とともに、部活動等に大いに頑張る活動してください。そして、3年生は自分の進路に向けて真剣に取り組んでください。

話は変わります。ちょっと古い話ですが、靴のセールスマンの話です。

香港で靴の製造会社を経営する人物がいました。ある日、南太平洋の孤島に靴の市場が存在するかどうかを知りたくて、3人のセールスマンを別々に派遣しました。A氏は現地の様子を見てすぐに電報を打ちました。

「島の人間は靴を履いていません。よってここには市場は存在しません。」

B氏からの電報は次のような内容でした。

「島の人間は靴を履いていません。よってものすごい市場が存在します。」

C氏はマーケティングの専門家でもありました。彼は、部族長や現地人にインタビューしたうえで、こう打電してきました。

「島の人間は靴を履いていません。そのため、彼らの足は傷つき、あざもできています。」

私は部族長に、靴を履くようになれば島民は足の悩みから解放されると説明しました。部族長は非常に乗り気です。彼の見積もりでは、1足10ドルなら島民の70%が購入するとのこと。おそらく初年度だけで5000足は売れるでしょう。島までの輸送経路と島内の流通経路を確立するのに要するコストを差し引いても、大きな利益が生まれる可能性のある事業だと思われます。早急に話を進めましょう。」

一つの物事に対するとらえ方は人それぞれです。「島の人間は靴を履いてない」という事実から全く異なった判断が生まれます。いろいろな考え方を人間はします。だから集団は面白いのです。全員がA氏の考え方の集まりだったらつまらないと思います。「子どもの使い」という慣用語があります。要領を得ない使い、あまり役に立たない使いを意味します。まさにA氏は子どもの使いです。以前企業で「使える人材」と「使えない人材」を分けるポイントとして新人社内調査をした



結果、「使える」と言われた新人は、子どものころに親の手伝い経験(掃除、洗濯、買い物、調理、後片付け、育児、介護など)がある人ということがわかり、子どものときに親の手伝いをしたことがない人間は採用しないと決めている会社があると聞きました。お手伝いは、その過程で、コミュニケーション力、段取り力、計画力、問題解決力、最後までやり遂げる力が自然に身に付き、仕事力に生かされるということです。C氏のように「一を聞いて十を知る」ということができる人が会社にいると、経営も伸びていくのだと思います。家庭でも学校でもちょっとしたお手伝いのできる人が、これから大きくなって社会の役に立てる人になるのでしょうか。日本の将来をしょって立つ皆さん! 面倒と言わず、いろいろなお仕事にチャレンジしてみてください。

結果、「使える」と言われた新人は、子どものころに親の手伝い経験(掃除、洗濯、買い物、調理、後片付け、育児、介護など)がある人ということがわかり、子どものときに親の手伝いをしたことがない人間は採用しないと決めている会社があると聞きました。お手伝いは、その過程で、コミュニケーション力、段取り力、計画力、問題解決力、最後までやり遂げる力が自然に身に付き、仕事力に生かされるということです。C氏のように「一を聞いて十を知る」ということができる人が会社にいると、経営も伸びていくのだと思います。家庭でも学校でもちょっとしたお手伝いのできる人が、これから大きくなって社会の役に立てる人になるのでしょうか。日本の将来をしょって立つ皆さん! 面倒と言わず、いろいろなお仕事にチャレンジしてみてください。